

Windows Update 適用後の不具合とその対策について

株式会社 東京測器研究所

2018年6月

概要

2018年3月よりMicrosoft社のWindows Updateの適用後、Windows7 32bit環境の一部PCにおいて、OSの再起動が繰り返される問題が発生しております。

また、Windows 8以降の32bit OSにおいては、HASPドライバのインストールに失敗することがあります。

対象製品:

DC-7630/DC-7630-M

DFA-7610

DRA-7630

IMP-7210

TDS-7130

TDS-7130v2

TDS-Mail/TDS-Mail-F

TMR-7630/TMR-7630-H/TMR-7630-M

原因

これは、Windows Updateで適用された更新プログラムと「HASPドライバ」の互換性が原因であることが判明しており、HASPプロテクトのメーカーが最新ドライバを公開いたしましたので、弊社でも提供を開始しました。

対策方法

大変お手数ですが、本資料の手順を参考に、対処方法を実施して頂けますようお願いいたします。

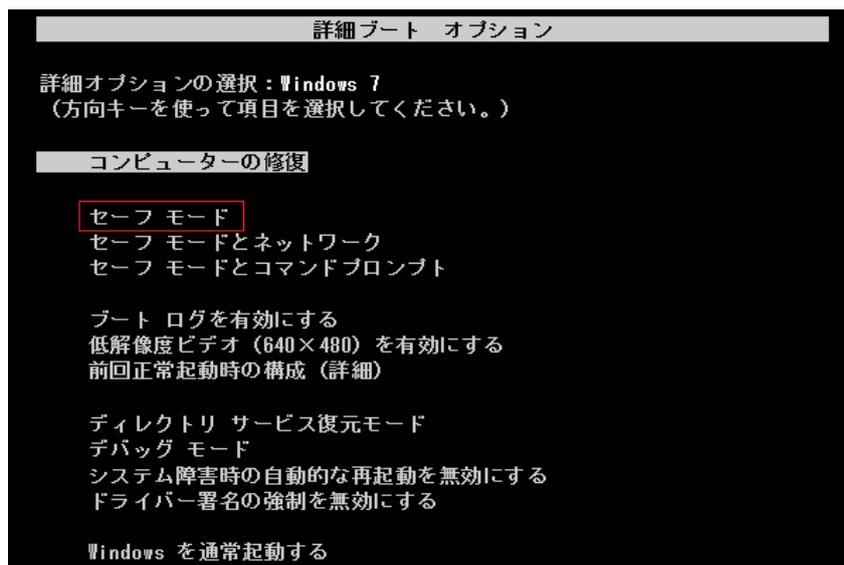
用意するもの:

対策版のVisual LOG製品のセットアップCD

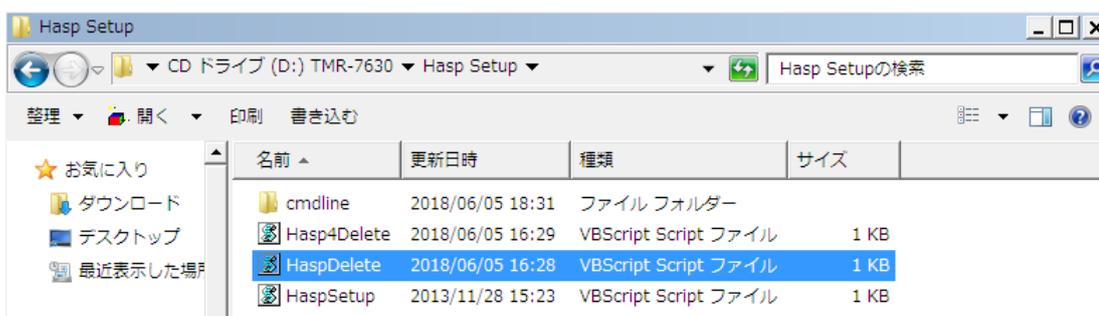
※当社の担当営業所に連絡し、お手持ちの製品をバージョンアップしてください。

HASP ドライバの削除 (既にインストールされている場合)

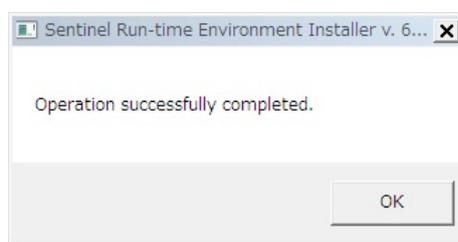
- 手順 1. パソコンの電源を切り、HASP キーを取り外します。
- 手順 2. パソコンをセーフモードで起動します。
電源投入後、製造元のロゴや BIOS の起動画面が表示されたら、[F8]キーを何度か押します。
詳細ブートオプション画面が表示されたら、方向キー(↑/↓)を使用して「セーフモード」を選択後に、[Enter] キーを押して下さい。



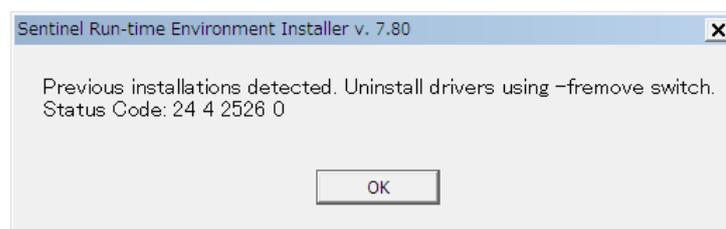
- 手順 3. セットアップ CD をパソコンの CD-ROM 対応ドライブに挿入します。
- 手順 4. CD 内の[Hasp Setup]フォルダを開き、HaspDelete を実行します。



- 手順 5. HASP ドライバの削除に成功した場合、以下のダイアログが表示されます。
[OK] ボタンをクリックして下さい。



HASP ドライバのバージョンによっては、以下のようにエラーが表示されることがあります。

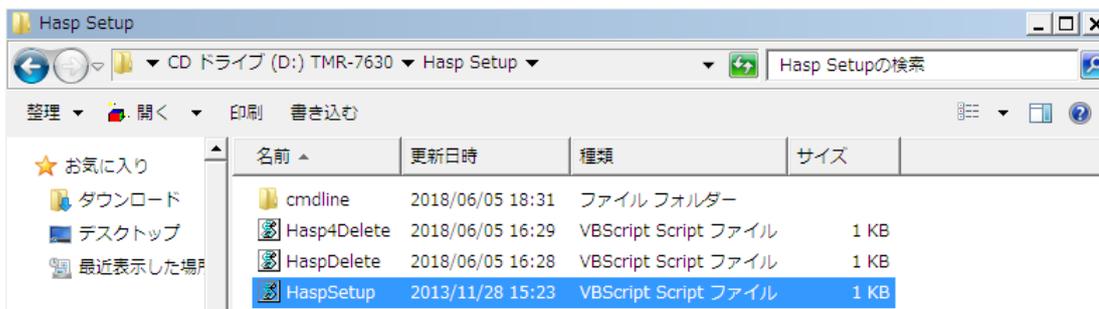


エラーが発生した場合は手順 4.に戻り、**Hasp4Delete** を実行して下さい。

- 手順 6. PC を再起動します。

HASP ドライバのインストール

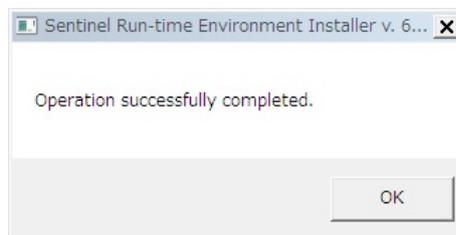
- 手順 1. セットアップ CD をパソコンの CD-ROM 対応ドライブに挿入します。
- 手順 2. CD 内の[Hasp Setup]フォルダを開き、HaspSetup を実行します。



- 手順 3. お使いの環境により、ユーザーアカウント制御が表示されます。
[はい(Y)]ボタンをクリックして下さい。



- 手順 4. [OK]ボタンをクリックします。



- 手順 5. HASP キーをパソコンに接続してください。

以上で作業は終了です。